



楠見区



【キリン】

車輪を地面から浮かせ、山車の中央部分を軸に回転させ進行方向を変える。特に御舟は全長が長い為、これを素早く捌く様は必見です。



【もみ】

神輿を上下、左右に揺さぶって担ぐことを「もみ」と呼びます。

【さし】

神輿を高く持ち上げることを「さし」と呼びます。



株式会社 俵石材店	下町区青年会	医療法人社団 廉勝会 赤門整形外科内科 柏崎区 ☎0470-22-3624
上真倉区	仲町区 青壯年会	おかげ床 上町区 ☎0470-22-3624
医療法人 南陽会 田村病院 上須賀区 ☎0470-22-1370	倉田接骨院 新井区 ☎0470-22-1642	カーショップ オアシス 青柳区 ☎0470-23-4735
○宮城 吳友会	明栄会 笠名青年会	株式会社 ケアサービス・まきの実 柏崎区 ☎0470-30-8488
○波区天神会	株式会社 集贊舎 ☎0470-22-2277	館山地区青年会連合会



館山のまつり公式サイト

<http://tateyamanomatsuri.awa.jp/> 館山のまつり 検索
<https://www.facebook.com/tateyamanomatsuri>
■発行：館山地区祭礼当番区、館山地区青年会連合会
■企画：館山地区青年会連合会企画広報委員会
■後援：館山市観光協会 <http://www.awa.or.jp/home/tkk>

館山のまつり(館山地区合同祭礼)の起源

その昔、各区の鎮守として祀られている神社のいわれにより、祭りの開催日は同日ではありませんでした。

その後、幾度かの町村合併や更に大正三年に旧館山町（現在の青柳、上真倉、新井、下町、仲町、上町、楠見、上須賀地区）と旧豊津村（現在の沼、柏崎、宮城、笠名、大賀地区）が合併し、館山町となったのをきっかけとし大正七年（1918年）より青柳区日枝神社、上真倉区神明神社、新井区、下町区諏訪神社、仲町区上町区諏訪神社、楠見区嚴島神社、上須賀区八坂神社、沼区天満神社、柏崎区國司神社、宮城区熊野神社、笠名区神明神社、大賀区御瀧神社の十一社十三地区が八月一、二、三日に祭を行なうようになりました。三日に新井海岸から西の浜海岸沿いに集まり合同祭礼を執り行なうようになりました。

大正十二年の関東大震災により、新井、下町の祀る諏訪神社、仲町、上町を祀る諏訪神社、楠見の嚴島神社、上須賀の八坂神社の4社が倒壊した為、氏子の協議により四社が合祀を決め、昭和七年に館山神社として、創建いたしました。

それ以後、館山地区では八社十三地区の合同祭礼として執り行われていましたが、令和になり大賀区が少子化の影響をうけ青年会休会等の事情で出祭できなくなり（現在別日に祭を行なっています）、令和5年の合同祭礼より、七社十二地区的合同祭礼として行われています。

館山のまつりは、愛称「たてやまんまち（たてまち）」として館山城下の人々によって守り、育て、伝え続けられてきた“心のまつり”です。

平成三十年（2018年）に百周年を迎えた「たてやまんまち」は大正、昭和、平成、そして令和とこれからも伝統を伝えています。

地区名 上須賀区 [八坂神社]
祭 神 素戔鳴命

明治二十九年、八坂神社に奉納され、昭和五年から館山神社のお神輿として今年で百二八年目。今もその美麗さは房州一と称賛されています。祭神は素戔鳴命、彫刻は後藤義光の作。

地区名 下町区
祭 神 建御名方富命

【諏訪神社】

山車は明治二十四年新築。
山車の彫刻は、後藤喜三郎橋義信師によって施されたものです。
人形は日本神話の女神伊弉冉尊で、隣の仲町区の人物伊弉諾尊とは夫婦となり共に国産み・神産みをした神とされています。

地区名 上町区
祭 神 建御名方富命

【諏訪神社】

彫刻は後藤秀吉橋義雄作。欄間正面に急流を泳ぐ龍、左右に竹林の虎、上、中高欄の彫刻は後藤喜三郎橋義信作。祭神は国常立尊。

地区名 新井区 [諏訪神社]
祭 神 建御名方命・八坂刀賣神地区名 仲町区
祭 神 建御名方命

【諏訪神社】

鶴と玄武の四方幕は平成二十五年五月に新調。彫刻は後藤喜三郎橋義信作。中央に鳳凰、高欄に龍、虎、麒麟、欄間に七福神を配している。人物は伊弉諾尊。

地区名 楠見区
祭 神 市杵島比売命

【嚴島神社】

彫刻は後藤喜三郎橋義信作。雲上の應龍と四方の鰐が特徴。
幕は靈竹竹林の虎。高覧は昇龍に降龍。
人物は、領民の暮らしに重きをおいた、仁政在位の仁徳天皇。
城下の民の無病息災と五穀豊穣への願いが込められています。



しんめい 神明神社

地区名 上真倉区
祭 神 天照皇大神・素戔鳴命・高皇產靈尊

彫刻は名工初代後藤利兵衛橋義光の作。牛若丸とカラス天狗の鞍馬山修行の様子を力強く表現してあります。



ひえ 日枝神社

地区名 青柳区
祭 神 大己貴神・大山咋神

日枝神社は、館山地区東端に位置します。漆塗りの艶やかな大神輿には、初代後藤利兵衛橋義光の重厚な彫刻。楠木正成と長男正行の桜井の別れ、太田道灌と山吹の里が胴体に施されています。



しんめい 神明神社

地区名 笠名区
祭 神 高皇產靈神・天照皇大神

昭和三年、笠名区神明神社二代目の神輿として作成されました。彫刻は三代後藤義光作。神輿を担ぎ出す前には、伝統の木遣りではなし、神輿を豪快に高々と空中に投げ上げるのが特徴です。



くまの 熊野神社

地区名 宮城区
祭 神 伊弉那美命・事解男命・速玉男命

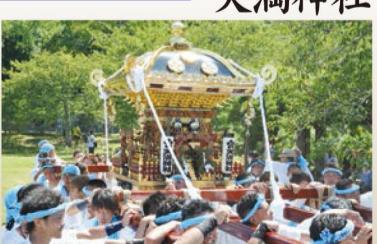
成務天皇六年の創立と伝えられ、御神輿は大正十二年、区内の宮大工の作品。彫刻は安房の名工、後藤源義定の作品。当時の素木造りを現在まで維持しております。



こくし 國司神社

地区名 柏崎区
祭 神 源 親元

文化十四年（江戸時代）に建造されたと伝えられています。國司神社には十一種類の御馳子が伝承。特徴のある御馳子であり、新造船の進水式や将軍の乗船時に歌った柏崎の御船歌は館山市無形民俗文化財指定されている。



てんまん 天満神社

地区名 沼区
祭 神 菅原道真

祭神の菅原道真公は学問の神様として信仰されています。大神輿は館山地区で一番大きくて重いと言われ、一本彫の鳥居と龍、扉にちりばめた漆錆（らん）細工の梅鉢が自慢。彫刻は三代後藤義光作。

令和6年

8/1(木)・2(金)

館山のまつり

見どころマップ



笠名区 高く舞う神輿

2日 10:50~11:50
新井海岸
新井、上町、楠見、下町、仲町、が
お浜入りを行います。2日 10:10・12:15
笠名神明神社付近
柏崎、笠名、大賀の三社
による共演を行います。笠名区
神明神社

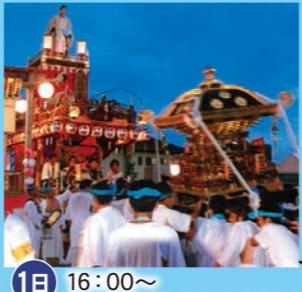
セブンイレブン



1日 國司神社下



1日

2日 10:50~11:50
新井海岸
新井、上町、楠見、下町、仲町、が
お浜入りを行います。1日 16:00~
歩行者天国内、神輿と山車の共演。2日 10:10・12:15
笠名神明神社付近
柏崎、笠名、大賀の三社
による共演を行います。笠名区
神明神社

セブンイレブン

柏崎区
國司神社

1日

2日 19:10~
館山神社内年番渡し2日 19:10~
館山神社内年番渡し

	見どころタイム	見どころ地区	場所	解説
歩行者天國	16:00~19:00	青柳 上真倉 笠名 宮城 沼 上須賀	館山神社	入祭 (16:10~) 青柳区かっこ舞 (16:30~) 遷御 (18:05~)
	18:00~19:30		交番脇	神輿、山車、曳舟の共演
	19:00~20:15	仲町	長福寺前	おかげ踊り、餅つき踊り、左官踊り、鯛釣り、白狐の舞
	18:30~	楠見	館山神社脇	天狗の舞、左官踊り、餅つき踊り、餅投げ
	19:45~	下町 青柳 上真倉	下町交差点付近	下町の狐踊り

	見どころタイム	見どころ地区	場所	解説
歩行者天國	17:00~	上町 楠見 新井 下町 仲町 柏崎	館山小学校交差点~館山神社	山車地区人形披露 (17:00~) 宮入り (18:15~) 年番渡し終了後宮出し (19:20~)
	19:10~	上町 楠見 新井 下町 仲町	館山神社	館山神社山車御船地区年番渡し
	19:55~	楠見	館山神社脇	左官踊り、餅つき踊り、餅投げ
	19:55~	新井	城山公園入口~下町交差点	武走裸道の「走」

